

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習 I		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾 他	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉学や心理学の基盤であるコミュニケーションの基本を学び、自己開示や自己呈示という社会的コミュニケーションにかかせない概念としての自己理解を深めることを目的とする。</p> <p><概要>他者とのコミュニケーション演習や自己理解ワークを用いて自己分析を行い、その成果を発表や討論を通して理解を深める。</p>				
学習上の助言	自分らしさとは何かについて得る機会であることを意識しながら、積極的に授業へ参加して欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉学や心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HSU (1) ~ (3)、WP (5)	
②	社会福祉学や心理学の専門的な知識を活かし自己を理解することができる。			HSU (1) ~ (3)、WP (3)、(6)	
③	自分らしさを表現できるコミュニケーション力を身につけることができる。			HSU (1) ~ (3)、WP (6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	自己理解と他者理解(1) 自己開示について学ぶ。	講義・演習	自己開示の方法について学びワークを実施し体験を振り返る。	2	
2	自己理解と他者理解(2) 自己呈示について学ぶ。	講義・演習	自己呈示の方法について学びワークを実施し体験を振り返る。	2	
3	自己理解と自己分析(1) 自己分析の基礎について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法について学びワークを用いて自己分析の方法について学ぶ。	3	
4	自己理解と自己分析(2) 自己分析の基礎について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の結果をミニレポートにまとめる。	4	
5	自己理解と自己分析(3) 自己分析の発展について学ぶ①。	講義・演習	自己分析の方法について学びワークを用いて自己分析の方法について学ぶ。	3	
6	自己理解と自己分析(4) 自己分析の発展について学ぶ②。	講義・演習	自己分析の結果をミニレポートにまとめる。	4	
7	社会的コミュニケーションとしての自己表現 自己分析の結果を踏まえた自己表現について学ぶ。	演習	自己分析の結果をもとに社会という文脈での自己表現について発表を行い、討議する。発表及び討議について振り返りを行う。	4	
8	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を振り返りレポートを作成する。	8	
試					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	10	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	15	5	0	0	20
	コミュニケーション力	0	15	5	0	10	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	第7回の最終発表会後に、第8回で提示する課題レポートについて、出題意図に即した内容が記述できているか、テーマに応じた思考・考察ができているか、相手に伝わる表現法が選ばれているかという観点で評価する。				レポート講評は各自にコメントを付し返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	第7回の最終発表会において、与えられたテーマに関して求められている内容を発表できているか、相手にわかりやすく伝えているかなどに関して評価する。				発表後に講評する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	第1回～第6回において実施するワークへの取り組みや課題の提出状況に関して評価する。				ワークや課題は返却時にコメントを付す。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎瀧口 綾、前川 真奈美</p> <p>大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めません。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p>							